



東地中海地域ニュース

シリア：イスラエル空軍機によるシリア領空侵犯に対する反応 (9月7-9日付現地報道)

(注：9月6日、シリア軍報道官が、イスラエル空軍機が5日夜から6日朝にかけてシリア北部で領空侵犯したと発表した。これに対しイスラエル側は、本件に関しコメントしない立場を表明した。)

1. シリアの反応

(1) シャラ副大統領：

イスラエルによる軍事的扇動行為は、イスラエルがその言葉と裏腹に、和平の浸透を望まず、緊張を高め、和平の可能性を阻止しようと努力していることを示すものである。

(2) ジャアファリ国連常駐代表：

イスラエルの目的は、和平交渉を前進させる国際社会の努力を破壊することであり、イスラエルは地域における緊張を欲している。

2. 各国の反応

(1) イラン：

イランのモッタキ外相はムアッリム外相に電話し、「イランはイスラエルによるシリア領空侵犯を非難する。イランはシリアと完全に立場を共にし、イラン政府及びイラン国民は完全にシリアと団結する」と述べた。

(2) トルコ：

トルコ外務省報道官はイスラエルによるシリア領空侵犯に対し懸念を表明し、「かかる事件は、困難な状況にある同地域に緊張をもたらす」と述べた。

(3) 米国：

ケイシー国務省報道官は、今回の事件に関するコメントを拒否した。

(4) アラブ連盟：

ムーサ事務局長は「今回のイスラエルによる領空侵犯は地域の利益及び中東和平への地域及び国際社会の努力にマイナスの影響を与えるものである」と述べ、カルテット及び国際社会が本件に関し真剣に検討することを求めた。

(5) エジプト：

エジプト外務省は声明を発し、イスラエルの敵対的行動は地域に緊張をもたらすものであり、イスラエルにその責任があると述べた。

(6) レバノン：

ラフード大統領は、「イスラエルの敵対的行動は、イスラエルが依然として敵対的態度を維持していることを示し、地域にマイナスの影響を与えることを懸念する」と述べた。